

夏と冬の風物詩 納涼ビール電車&おでんしゃ

豊橋駅前～運動公園前までを約1時間20分かけ1往復します。
夏は生ビールが飲み放題&おつまみ弁当、
冬はあったかおでん&生ビール飲み放題です。

納涼ビール電車



車窓からの風景を眺めながら楽しむビール電車は、多くの方にご利用いただいております。
期間 ■ 6月中旬～9月中旬

▲令和元年度版



▲平成25年度版
おでんしゃ
走る屋台として揺られる電車の中で温かいおでんを楽しめます。
期間 ■ 11月中旬～2月下旬



お問合せ ■ 豊橋鉄道鉄道部 / TEL.0532-53-2136

ICカード manaca

豊橋の市内電車は便利なIC乗車券 manaca がご利用いただけます。

ご乗車の際に、運賃箱のIC読取部にタッチするだけの簡単乗車。

manacaは市内電車のほか、渥美線や名鉄電車、全国の交通系ICカード対応エリアでも、鉄道・バスのご乗車や電子マネーでのお買い物にもご利用いただけます。



交通系ICカード
全国相互利用のシンボルマーク
いつでもチャージ（入金）でき、電車のご乗車やお買い物にご利用いただけるICカードです。
上記マークのある全国の鉄道・バス・お店などでご利用いただけます

未来につながる乗り物

路面電車は戦前から戦後にかけて最盛期を迎え、全国65都市で活躍しましたが、高度経済成長期を迎え自動車普及してくるにつれ、各地で廃止されてゆきました。

しかし、近年は可燃燃料を使わないエコな乗り物として再び注目を集め、「LRV」という改良型の路面電車も登場しています。「LRV」は「Light Rail Vehicle」の省略語で、「誰でも簡単に利用できるレールの上を走る電車」です。路面電車はエコで地球にも人にもやさしく、そして未来への可能性をも秘めた乗り物なのです。

豊橋鉄道では、車椅子でもベビーカーでも、誰もが利用しやすいように停留場をバリアフリー化したり、全面低床車両「ほつらム」を導入するなどして人と地球に優しい公共交通の推進に取り組んでいます。

電車の声を聞いてみよう！

市内電車は風情のある乗り物です。
ゴトゴトと揺られる車内、ゆっくりと流れていく豊橋の街並み。車内で耳を澄ませると、さまざまな音も聞こえます。

ポコポコポコ...



空気を圧縮するコンプレッサーという機械の音です。コンプレッサーで圧縮された空気はブレーキやパンタグラフの操作、ドアの開閉等に使われます。ドアを開くときの「ブシュー」という音は圧縮された空気の音です。

くおおおん...

3200形・3500形のモーターの音です。坂道を登るときや、加速するときに聞こえてきます。この2種類の車両は昭和の時代に作られたもので、モーターから車輪の軸に力を伝えるしくみが他の車両とは違います。そのため、3200形・3500形だけがこの「くおおおん...!」と唸るような独特の音がするのです。

チンチン!

電車の発車ベルの音です。
昔の路面電車では車掌さんがベルに付けた紐を引いて運転士さんへ合図していました。ワンマン運転となりベルの合図がいなくなった今では、「発車の合図」として「チンチン!」とベルが鳴ります。ベルが鳴る車両は3500形とT1000形です。

豊橋鉄道株式会社

〒440-0888 愛知県豊橋市駅前大通一丁目46番地の1 豊鉄ターミナルビル5F
TEL.0532-53-2131(代) http://www.toyotetsu.com

豊橋鉄道

市内電車

ガイドブック



豊橋鉄道株式会社

表情豊かな豊橋のシンボル

T1000形全面低床電車(LRV)

狭軌軌道事業者において、純国産では初となる全面低床電車



平成20年に製造された電停と電車の段差が少ない全面低床車両(LRV)です。広々とした車内はバリアフリーになっており、最小通路幅820mmで、車椅子やベビーカーでも利用できます。愛知県東三河地区を指す「穂の国」と「ほつ」と和むイメージ、路面電車を意味する英語「トラム」を組み合わせた「ほつトラム」の愛称で親しまれています。



3200形

昭和30年に製造され、名鉄岐阜市内線で活躍していました。前照灯が中央前部にある当社で唯一の「一つ目」車両です。クリーム色に赤帯の豊鉄オリジナルカラーに塗装されています。「納涼ビール電車」や「おでんしゃ」はこの車両がラッピングされて運行します。



3500形



昭和29～30年に製造され、昭和52年に車体更新した車両です。都電荒川線で活躍していました。当社で乗降口ステップの新設や冷房化改造等を行っています。前扉を閉じた際に「チンチン」と風情ある発車ベルが鳴ります。

780形

平成9～10年に製造され、名鉄岐阜市内線・揖斐線で活躍していました。全車がバラエティ豊かな全面広告車で、当社の主力車両となっています。前後扉は3枚折り戸、中扉は両開きで扉の開閉と連動してステップが開きます。



800形



平成12年に製造され、名鉄岐阜市内線・美濃町線で活躍していました。車内はゆるやかなすり鉢状になっており、前後扉は3ステップ、中扉はノーステップです。乗り降りしやすいよう、乗降場との段差が小さくなる工夫がされた車両です。

